

授業科目

高齢期障害作業療法学

担当教員名 能村 友紀	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

授業の概要

- 1)高齢者の心身の特性・障害を理解できる
- 2)高齢者の生活障害を理解できる
- 3)高齢者に対する作業療法の援助プロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を修得する
- 4)高齢者に対する作業療法の役割を理解する

授業の目的

高齢期障害のある対象者に対する作業療法を理解するために、作業療法士の役割と作業療法の援助法を修得する

学習目標

- 1.高齢者のリハビリテーションについて説明できる
- 2.高齢期作業療法の病期と実施場所を説明できる
- 3.高齢者に対するOTの役割、OTのプロセスを説明できる
- 4.高齢期作業療法の援助法を理解できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	高齢者のリハビリテーション	講義	能村 友紀
2	高齢期作業療法の対象となる病期と実施場所	講義	能村 友紀
3	高齢期作業療法プロセスの枠組み	講義	能村 友紀
4	認知症の作業療法 (1)	講義	能村 友紀
5	認知症の作業療法 (2)	講義	能村 友紀
6	認知症の作業療法 (3)	講義	能村 友紀
7	認知症の作業療法 (4)	講義	能村 友紀
8	心身機能障害の作業療法 (1)	講義	能村 友紀
9	心身機能障害の作業療法 (2)	講義	能村 友紀
10	生活障害の作業療法 (1)	講義	能村 友紀
11	生活障害の作業療法 (2)	講義	能村 友紀
12	介護老人保健施設での高齢期作業療法の実際 (1)	講義	山倉宏美
13	介護老人保健施設での高齢期作業療法の実際 (2)	講義	山倉宏美
14	地域・在宅での高齢期作業療法の実際 (1)	講義	四方秀人
15	地域・在宅での高齢期作業療法の実際 (2)	講義	四方秀人

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010年	3,990円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

期末試験：80%
小テスト、レポート：20%

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

水曜日10時～13時
nomura@nuhw.ac.jp